

会議結果のお知らせ

令和7年度第3回川井地域振興会議を次のとおり開催しました。

令和8年3月30日

川井地域振興会議

1 開催日時

令和8年3月16日(月)午後6時00分から午後7時30分まで

2 開催場所

川井総合事務所 2階 第1会議室

3 議題

協議事項

(1) 令和7年度川井地域振興会議事業実施報告について

(2) 令和8年度新年度予算(事業)について

(3) その他

4 会議の概要

別添のとおり

5 その他

6 問い合わせ先

川井総合事務所地域づくり係 電話0193-76-2111

令和7年度第3回川井地域振興会議

- 1 開催日時
令和8年3月16日（月）午後6時00分から午後7時30分まで
- 2 開催場所
川井総合事務所2階 第1会議室
- 3 出席委員（9名）
櫻野甚一、長鈴秀夫、川口恵子、山崎和茂、橋本 聡、去石 徹、尻石光男、
榊原知美、坂本久子
- 4 欠席委員（3名）
大川 美、前川登代美、石川 巧
- 5 宮古市等出席者（4名）
企画部長 岩間 健
（事務局）川井総合事務所長 北舘克彦、副主幹兼地域づくり係長 佐々木信吾、
主査 野崎陽介
- 6 傍聴者
なし
- 7 議事等
協議事項
（1）令和7年度川井地域振興会議事業実施報告について
令和7年度川井地域振興会議事業実施報告について、事務局から説明を行った。
（2）令和8年度新年度予算（事業）について
令和8年度新年度予算（事業）について、事務局から説明を行った。
（3）その他

質疑応答の要旨は、別紙のとおり。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【協議】「令和7年度川井地域振興会議事業実施報告について」 (委員) 報告の中でもあった、色々な施設が廃止、廃止ということで、川井地域は施設が多いが一年でこれほど施設が無くなることは非常に大変なことだと思った。ただ、如何せん利用者とか色々な利用状況を言えばやむを得ない部分もあろうかと思う。全て何でも無くなれば良い訳ではない。有る施設は最大限利活用をするように努めていくことも一つの地域の活性化に必要なことだと思う。</p> <p>(委員) 薬局の廃止について、数人から聞いたが、薬局まで移動しなくて済むので逆に便利になったと意見があり、意外だった。前までは診察が終わって薬局まで行って薬を貰っていたが、全て診療所で済むので便利になったとの意見だった。</p> <p>(委員) 第2回の会議で協議された、火葬場の運営についてですが、廃止条例が出ましたね。</p> <p>その辺りの今後の流れを教えて欲しい。</p> <p>トイレはどうか。</p>	<p>(事務局) まだです。</p> <p>地域振興会議の後にお寺や各6地区を回りご意見を伺って、その結果を持って正式に廃止の方向を決め、議会に報告しました。市では、令和8年9月30日で火葬場を廃止したいと考えております。火葬場の条例の廃止については、6月の議会に提出させていただきたいと考えています。</p> <p>その後、火葬場の解体等が出てまいりますので、そこについては、総代やお寺と協議しながら予算を取って解体を進めていきたいと考えています。</p> <p>トイレはそのまま残す方向で考えています。</p>

<p>(委員) 残して総合事務所で管理するのか。</p> <p>好心寺は住職が常駐しておらず、お寺でも市のトイレだと思って手を掛けないと、汚れたりする。お寺と事前に協議をお願いしたい。</p> <p>(事務局) 新年交賀会は説明があった通り、去年より20名ほど増えたということで私は良かったと思う。 新年のスタートを一人でも多い方が集って色々意見交換をすることは大事だと思う。 来年もその位集まれば良いなと思っています。</p> <p>(事務局) 市長と語ろうタウンミーティングは、全体で何人の出席になったか。</p> <p>川井の会場では何人位か。</p> <p>(委員) 小国保育所の関係で、実際、今休館となっている。来年度川井地域から新たに保育所に入る子は何人かいるのか。 去年の新里保育所の全保育児童が20数名いた中で、私が調べた中では川井地域から10名程行っていると思いました。 タウンミーティングの中でも話したが、色々保育所は国の縛りが有って、それぞれの機能が若干異なっていく。これだけ広域合併した中で、川井、新里、田老、宮古それぞれ地域ごとには子供が入る施設が当然有って良いと思っている。誰も居ないとなれば仕方ないが、いる限りは保育環境を同じような形にして選択させるのも非常に大事だと思っている。 今の新里と川井の保育所の保育環境が全く違うとういうことで、新里に連れて行った方が色々な面で良いとなっている。その辺り</p>	<p>(事務局) 詳しいところまで詰めていません。</p> <p>(事務局) 全体で160人位でしょうか。去年よりは相当増えています。</p> <p>(事務局) 25名ほどです。</p> <p>(事務局) 何人入るかは把握していません。小国保育所への入所希望は今のところゼロとは聞いています。</p>
--	--

の改善は今後とも機会があれば、話していきたい。

【協議】令和8年度新年度予算（事業）について

（委員）

区界の道の駅のトイレの改修が入るが、あれは県がやるのか。

（委員）

県の管理となっている。

何か計画はあるか。

（事務局）

やまびこフェスタの開催形態の検討とは何か。

予算が減ったのは、新里や田老も全体に減っているのか。

（事務局）

今、言った他の地域では別な事業に持って行ったとはどのようなことか。

実質は減っていないか。

新里まつりも変わってない。

川井だけ50万円減った。これはどういうことか。

（事務局）

県が修繕工事を実施しています。

既に始まっていて、9月には完成予定で改修工事をやっています。

（事務局）

そろそろ仮設トイレとか建ち工事が始まる予定です。

（事務局）

先ほど説明した300万円から250万円に補助金が減額になり、同じような形でどこまで出来るか今内部で色々検討しています。

民謡協会さんの協力を得てやっているところもあり、どういう形で出来るかも話し合っていかなければならない状況です。

50万円減ったのは川井だけです。他は違う事業に持って行った形もあります。

（事務局）

田老のイベントでは開催形態が変わって、名前が変わり違う名目で予算化されたものがあります。

減っていません。

新里まつりも変わっていないと思います。

（事務局）

減っていないと言うよりも、他のところは形態を変えたのもそうですが、今年やって来年考えろというのが、例えば「鮭まつり」で、鮭の量が無いのに「鮭まつり」を田老、宮古

(委員)

市で財源が大変だというのはわかるが、地域振興部という正に地域振興をテコ入れしようと市長の意向だと思うが。その中で地域振興部の中に各総合事務所が入る。それだけ組織を変えて地域振興をやろうというときに、予算をカットするのは市の考え方と現実的に予算と比べた時に、川井では無駄なことをやっていると言われればそのとおりにかもしれないが、その辺りはどうなのか。

(委員)

やまびこフェスタの予算、令和7年度は300万円。2日間やって、実行委員長をやったが、去年の内容を見ると非常に満足できない中身であったと思っている。

今回予算を50万円減らさせたことを機会として、実行委員会の方でもこれまで掛けてきた事業の経費を検証していかなければならないと思っていた。その中で50万円を

地区でやっているものがあります。

田老町漁協で「大漁まつり」をやっていましたが、自ら運営できないからやめるとか、色々な地域によって動きがあります。

川井地区については、この事業は継続ということで、しっかり回数を重ね認知されています。やり方について、2日間開催のイベントは少なく他の地区は1日が多い状況です。

新里まつりも1日。一番大きいのは設営費。物価高騰で多いのが、人件費と設営経費が多い。2日間やるのではなく、2日やる必要性をどう説明して、どう工夫するか、宿題を預けられています。

(事務局)

地域振興は職員の人的配置を含め、来年度はこれまでよりも頑張って配置してもらいました。予算については全体がどうしても、下げざるを得ない状況です。今回この事業については、このようになりましたが、他にも色々な交流事業が軒並み減っています。全くゼロになった事業もあります。一旦立ち止まってより良い方法を考えるというのが市長の姿勢です。

地域振興部は、市民の参加、協働をメインにした係があつて、総合事務所があります。今までと違い、総合政策というよりも地域振興に重きを置いて意見を聞く組織になります。この会議も非常に重要になります。この地域振興会議の予算は、委員皆さんに言われたが年に3回だけかとの声があつて、予算は実際4回、5回分を確保しました。

どの部分で無駄があったのか無いのか、効果が無いものを継続でやってきた部分が有るのか無いのか。これから、総合事務所の職員の協力を得ながら検証しなければ無いとおもっている。その中で、どうしても必要な部分があれば、総合事務所を通じてお願いはしていかなければならない。

南部木挽き唄全国大会は継続して行くべき。フェスタ部分。テントで物販する部分を2日間やっても実際初日は人が少ない。2日目に集中する。その辺りを検証するなり人を呼べる対策を考える必要がある。

(委員)

50万円の減は大きい、ここでもう一度考えてどうしたら集客が出来るか、やりようが無きにしも有らず、皆さんで意見を出し合っていた方が良くと思った。

(委員)

川井に来てから、初めてケーブルテレビを始めて経験した。実際に皆さんは川井テレビを見ているのか。

(各員)

- ・交通情報を見ている人はいる。
- ・天気予報を見ている。
- ・見ている人は一日4回見ている人もいる。

(委員)

川井テレビの活用についてもっと必要だと思う。

最近、川井の郷土芸能祭、市民劇を放映している。みやこFMも川井テレビの中で放送している。

今後は番組を見て要望を出した方が良い。川井独自の事業である。

(事務局)

アンケートを実施します。実際、どんな使われ方をしているのか議会からも聞かれています。今のように映像を流すのもあるが、文字情報を入れたものをすぐに見れる仕組みもあります。それらを活用で出来れば良いと思っています。

<p>(委員) まいたけの古い原木はどうするのか。</p> <p>単価はどうなるのか。</p> <p>PRした方が良い。そうすると買ってやってみる人も居るだろうし、今度、各学校でまいたけの栽培体験をやってはどうか。</p> <p>これを機会に古い菌木を出した方が良い。</p> <p>(委員) まいたけの技術指導とは具体的にはどのようなものか。</p> <p>(委員) 今のまいたけセンターの職員は、そのまま公社に移行するのか。</p> <p>今の公社の職員で、まいたけを新たにする余裕が職員にあるとは思わない。</p> <p>一時期、まいたけがもうだめかとの不安があったが、市長の意向もあって、残す手段として公社にやる形になり、これはこれで良かったと思う。</p> <p>いかに繋げていくかは、今後の新たな課題としてしっかり取り組んでいかなければならない。</p>	<p>皆さんがどのように見ているかを確認したいので、アンケートを実施したいと考えています。</p> <p>(事務局) 在庫の原木が7,000個くらいあります。8年度に売る予定です。</p> <p>令和8年度で販売するものは、通常の5分の4の金額で販売する形で、今度配布のチラシを広報に入れる予定です。</p> <p>(事務局) 川井産業振興公社に運営をお願いする形になります。今までまいたけセンターは市の職員でやっていたが、公社の方々に一年通して実地で菌木の作り方など一通りを令和8年度で指導し、令和9年度から公社でやってもらう形で考えています。</p> <p>今650万円の予算ですが、これでは菌木が作れないので、これも補正予算で考えています。</p> <p>(事務局) まだ何とも言えないです。</p> <p>そもそも人手不足だと聞いています。</p>
--	---

実際、今まいたけが売れている量は、川井地域より川井地域以外の方が売れていると聞いている。宮古全体にまいたけを普及していくことは、地域おこしに一役買うのではないかと思っている。

(委員)

道路維持の関係で、支障木伐採業務委託(関根地区)とは何か。

(委員)

業者委託か。

(事務局)

小黒の手前の辺りで、法面から道路に掛かっている木があると、地元から要望としてあり、その支障木の伐採予算が取れました。

(事務局)

業者委託です。